

議会活動

文教厚生常任委員会

8月28日、文教厚生常任委員会(伊集 悟委員長)は、「校長会との意見交換会」を開催しました。働き方改革の取り組みや不登校の対応、コミュニティ・スクールの運営、特に働き方改革については、多くの時間を割いて意見を交わしました。その他、こどもたちの学びを支える取り組みや安全確保についての要望もお聞きしました。本町のこどもたちのために日々奮闘する学校長や先生方のご意見は大切な民意のひとつです。今後の議会活動、委員会活動に活かしてまいります。

主なテーマ

- 働き方改革の取り組み状況、成果や課題について
- 不登校やいじめ、ネット問題の現状と課題について
- コミュニティ・スクールの取り組みについて
- 本町のこどもたちの学力について
- 教育格差について、貧困や課題のある家庭の対応
- 学校設備の現状や課題について



意見交換会の様子

比嘉利和氏が新たに議員となりました！

県議選立候補に伴う議員辞職により、西原町議会議員選挙が令和6年9月3日に告示となりましたが、届け出は比嘉利和氏一人であり、無投票で比嘉氏の当選が決定しました。任期は前任議員の残任期間で、令和8年9月27日までとなります。

「住民福祉の向上と、西原町発展のため活動してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。」



ひが としかず
比嘉 利和 (千原区)
委員会:建設産業
議会運営委員会

表紙写真について

沖縄少林流志道館宮里空手道場は、西原町字棚原出身の(故)宮里昌栄館長がアルゼンチン国コルドバ市で開設した道場で、沖縄空手道の精神と技を門下生に指導し続けて今年65周年を迎えました。その節目にあたり、故郷である西原町で65周年記念式典が開催され、本町からは町長はじめ議長、教育長が祝辞を行い、式典では多くの門下生が日頃の鍛錬の成果を披露しました。

題字制作者

西原小学校3年生

さくがわ ひろみ

佐久川 寛海さん

【ひとこと】

最初は、漢字で書こうとしていたけど、むずかしかったのでひらがなで書きました。また挑戦したいです。



表紙の題字と写真を

お寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか？

表紙の**題字**(『議会だより』の文字。横書き)と**写真**を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先 議会事務局(担当:当真)

TEL945-5122 FAX945-5045

mail: gikaii_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

9月議会の傍聴者

延べ人数

27人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局

TEL:098-945-5122

議会広報調査特別委員会
委員 大田 寛

兎角に人の世は住みにくい「草枕」の冒頭に出てくる名句である。中学校3年国語で勉強した記憶だが？あの年齢では理解どころかともかく夏目漱石の作品ぐらいいしか解らなかった。いま思えば15歳の人生経験では難解すぎた。55年前に遡り、今となればあの時間、担任の先生など懐かしいかぎりだ。そんな小生ももう70歳。その間やはり人間関係にいろいろ悩みもあった。価値観や習慣、常識、さまざまなギャップ等が人間関係の難しさにつながる。70代に入るといろいろ言われる。寿命は70代の過ごし方で決まるとか、70代は特有の脆弱さがあるため、老いを遅らせるために意図的に生活習慣を自分なりに工夫するのが得策かもしれない。70歳になると大方が仕事も辞め子供達も独立し、人と関わる機会が減っていく。生きる上での楽しみがなくなるだけでなく、認知症発症のリスクも示唆される。社会から孤立しないためにもつながりが持てる場所づくりも良い手段かもしれない。あの文豪漱石の自宅には連日のように来客があり、人一倍世間と向かい続けたようだ。小説「草枕」では人の世は住みにくいところがあるが、そうではなく、実生活では人間関係も大事にした。これからも切磋琢磨し80代まで行けたら幸いだ。

つづやき